

普及活動情勢報告（令和8年8月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

田舎寿司を広げるために ～土佐の食文化伝承講座～



7月26日、四万十町十和地域振興局で「よさこい高知文化祭2026 土佐の食文化伝承講座」を開講し、「田舎寿司」の体験に20名が参加しました。

農業改良普及所は、開催までの準備・調整と当日のサポートを行いました。

当日は、土佐の料理伝承人3名（株式会社おかみさん市）が、「田舎寿司」が作られてきた経緯や作り方等について説明を行い、その後に参加者全員で調理・試食しました。

参加者からは、「自分の地域とは違う作り方が学べて良かった」、「楽しく経験できた」などの感想がありました。

農業改良普及所は、今後も地域の食文化の伝承に関係機関と協力して取り組みます。

夏場の作業に注意しよう！ ～シシトウ現地検討会～



7月27日、J A高知県十和園芸部シシトウ部会が現地検討会を開催し、生産者10名が参加しました。

農業改良普及所は、農薬の適正使用及び熱中症対策について情報提供を行いました。

生産者からは、「農薬を使用する際はきちんと確認し、適正使用に努めていく」、「寒冷紗を活用し、人にもやさしいほ場環境をつくっていききたい」等の声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後も農薬の適正使用や熱中症対策の啓発を行い、安全なシシトウ生産を推進していきます。

栽培技術の向上に向けて ～夏秋ピーマン現地検討会～



7月28日、J A高知県四万十夏秋ピーマン生産部会が栽培技術向上に向けて現地検討会を開催し、生産者17名が参加しました。

農業改良普及所から、盛夏期における適正な灌水量管理について、J Aから、灌水における資材選択について、情報提供を行いました。

生産者からは、「灌水量の目安はどのように確認したら良いか」、「高温対策として葉面積の確保を実践していきたい」といった意見が聞かれました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と協力して、夏秋ピーマンの栽培を指導します。

品質の良いサトイモを取ろう！ ～サトイモ現地検討会～



8月3日、JA高知県四万十サトイモ生産部会が現地検討会を開催し、生産者8名が参加しました。

農業改良普及所からは、今後の管理についての指導と、土壌改良資材実証ほ場の生育調査について中間報告を行いました。

参加者からは「今のところ資材無施用の方が葉柄の生育がいい」、「梅雨明け後の少雨の生育への影響は、掘ってみるまでわからない」などの意見が出ました。

農業改良普及所は、今後も降雨量や病虫害発生状況を確認し、栽培管理についての指導を行います。

決算書データ等を活用して経営改善へ ～経営分析説明会～



8月3・5日、JA高知県四万十支所興津出張所でミョウガ農家22戸に対し、経営分析説明会を開催しました。

農業改良普及所はJAと協力して、農家ごとに、3年間の決算データを基に経営収支や勘定科目別のお金の動き、出荷量などを確認し、栽培・経営の課題整理や改善に向けた助言を行いました。

参加者は、「所得を増やすためには作型の見直しも必要」、「収量増のために暑さ対策を考えたい」など、自身の経営を見直すことができました。

農業改良普及所は今後、ニラ農家に対しても説明会を開催し経営改善を支援します。

収穫に向けてラストスパート ～酒米現地検討会～



8月7日、JA高知県四万十酒米部会が現地検討会を開催し、生産者7名が参加して部会員のほ場を巡回しました。

農業改良普及所からは、農業技術センターの病虫害発生予察情報を踏まえ、管内で発生が多く見られている「イネカメムシ」と「いもち病」への対策や、出穂期以降の水管理について指導しました。

参加者のほ場でも、いもち病やカメムシ類の発生が見られ、「収穫に向けて、出穂期の防除をしっかり実施したい」などの声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後もJAと連携し、酒米の生産振興を図ります。